



同窓会のお知らせ

つゞじヶ丘同窓会
「第58札幌支部総会&懇親会」

2023年6月24日(土)

17:00~

於「ネストホテル札幌駅前」

函西さっぽろ

第19号
2023年5月1日

発行数：2000部
編集長：堀田正英
事務所：
〒001-0045
札幌市北区麻生町
9丁目2番1-1103号



札幌支部の活動状況について

札幌支部長 竹林 進(17回生)

今年3月13日から「マスクの着用は屋内外を問わず、基本的に個人の判断に委ねる」ということになりました。コロナ禍に対するリスク感度は個人個人で違いますが、長く続いたマスク生活はどこまで変わるのでしょうか。

いままでコロナ禍は私たちの暮らしや経済活動に大きな影響を与えてきましたが、ここに来て転換期を迎えることになりそうです。札幌支部では、コロナ禍が始まってから、令和2年度、3年度、4年度と3年続けて「同窓会&懇親会」の開催が中止となりました。昨年度は札幌支部の「総会&懇親会」の中止案内や会計収支報告等について、約1200名の支部同窓生に郵送で通知いたしました。そのうち令和4年度に会費を納めて頂いた方は144名でした。ご協力に感謝申し上げます。

毎年、同窓生の皆様やその家族の方から直接メール、電話、ファックス、通信はがきなど数多く連絡を頂いております。これらについて、令和2、3、4年度の3年間を集計してみました。

亡くなられました方は21名、高齢などの理由から退会の申し出等が11名、また宛先不明などで戻ってきた封筒は92通、その他意見・提案などです。これらの連絡の中にはコロナ禍に関連するものもありました。

今年2月20日札幌支部では役員会を開きました。そのなかでは令和5年度「総会&懇親会」の開催の是非、支部活動の方針、令和4年度会計報告などについて話し合いをしました。その結果、「総会&懇親会」につきましては、現在の状況を鑑みて開催することになりました。

に、不安と恐怖をもたらし、どれだけ多くの日常を奪ったことでしょうか。学生は、勉強、入学式、卒業式、運動会、修学旅行など、私たちの身近なところでは仕事、冠婚葬祭、病気の見舞い、家族旅行、飲食店での仲間との語らいなど多くの事が思うようにいきま

せんでした。

コロナ禍については、いつの日か「大変なことがあったなあ」と回顧できるような日が早く来てほしいと願っています。これからも皆様のご健康を心からお祈り申し上げます。

「パークゴルフ大会の中止について」

昨年度、札幌支部開催の「パークゴルフ大会」について、会報「函西さっぽろ」等でご案内したところですが、その結果参加予定者は5名でした。

ご案内では、「参加者が10名未満の場合は中止する」とことになっていましたので、残念ながら中止となりました。参加申し込みが少なかったのは、コロナ禍の影響や平日の開催などが影響したのかもしれない。

ある同窓生の方からは、電

話で「今回、仕事で参加できませんが、パークゴルフの方はどうなりましたか」と問い合わせもありました。

パークゴルフ提案の同窓生、また参加申し込みを頂きました皆様には、開催中止となり申し訳ありませんでした。今後、パークゴルフの気運が高まり次第では、親睦をかねて再度検討する機会があるかもしれません。

また、会員のみなさまから何かアイデアがあれば検討させて頂きたいと思っておりますので札幌支部あてにご連絡をお待ちしています。

引き続き「つゞじヶ丘同窓会札幌支部」へのご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



「森田芳光と函館」(その3)

成田 明 (19回生)

森田芳光監督函館ロケ作品、最後は「わたし出すわ」(2009年)です。おかしな題名ですね。最初この題名を見たときに頭の片隅を『わたし待つわ、いつまでも待つわ：』のメロディーと歌詞がよぎった。1982年(昭和57)年に大ヒットした、あみん(岡村孝子・加藤晴子)が歌った「待つわ」です。



わたしは何を出すのか？はじめにネタバレしてしまうと、ポスターでは小雪が金塊を差し出しています。そのとおりにお金と金塊です。公開時のチラシには「東京から故郷に戻ってきた山吹摩耶(小雪)が高校時代の友人たちと再会する／そして、彼らの「夢」や「希望」をかなえるための資金を差し出していく／友人たちは戸惑いながらも、ついそ

の大金を受け取ってしまったのだが：／果たして、大金を差し出す摩耶の目的は？／お金を受け取った友人たちの夢は希望の結末は？。監督はこの作品について「撮影を経て映画が完成して公開する段になって、自民党から民主党に政権交代して、国がお金の遣い方を真剣に考える時代の流れになりましたよね。そういう意味では、今の時代の気分にあった映画になったと思います。だから、この映画を見ると、今の経済ニュースがよく分かるようになる(笑)。ただ、お金のある人がない人にあげようとするのはいつの時代でも通用する行為ですし、映画の根底は人の心の問題なんです」と語る。

今回は前3作と違い監督の13年ぶりのオリジナル脚本です。ロケ地は最初から函館に決まっていなくて、脚本には路面電車がでてくるので、スタップはまた函館だろうと思っ

ていたら、監督はそんなことはない、と初め愛知県の豊橋に下見に行ったが、監督から「豊橋では絶対無理」と連絡あり、結局函館に決まったそうです。

映画では高校時代の回想場面が数回出てきます、教室の窓の向こうに見える函館ドック、また違う教室の窓からはハリストス正教会が見えるシーンがあります。そうですこの回想場面は西高で撮影されたのです。もちろん現在の新校舎です。さらにエンドロールを見ていて出演者の名前に見覚えが：。

映画は家のポストに金塊が投げ込まれる事件が相次いでいるとのニュースが流れているところから始まる。マンションの部屋に引越し業者が荷物を運び込んでいる。摩耶は仕事が終わった二人に10万円ずつお礼をあげる。

最初に会う高校時代の友人は、市電の運転手をしている道上保(井坂俊哉)、道上の夢は世界の路面電車を見て回る。後日道上の自宅にダンボールに入った大金が届く、しかしこの金は道上の妻かえで(小山田サユリ)がホストに貢ぎ、借金までしてしまう。道上との回想場面は、ラジオから株式市況が聞こえ、誰もいない教室の窓からは遠くに函館ドッグのゴライアスクレーン(2009年解体)が見える画面に「マヤ、そんな聴

いて面白いのか」のテロップが重なる。結局、道上は再度摩耶から資金をもらい無事世界の路面電車巡りに出かける。二人目の友人は川上孝(山中崇)、高校時代にマラソンで高校新記録をだしたランナーだが、今は疲労骨折で走れない。アメリカでの治療が必要とのことで、摩耶はその治療費を出してあげ、アメリカで治療を終えまた走れるようになる。回想場面はグラウンドの隅にある用具小屋、ボールを蹴る音と生徒の音が聞こえる。「マヤ、走ってみるよ、嫌なこと忘れるよ」。

三人目は平場さくら(小池栄子)、さくらは摩耶から小型冷蔵庫だけ買ってもらう。また消費者金融に務める夫まさる(ピエール瀧)の趣味が箱庭(実は監督の趣味でもある)で、箱庭教会の会長(加藤治子)職を譲ってもらうための金を摩耶から融通してもらい、会長に就任する。回想場面は図書室、ドアの開く音に生徒の声が重なり、ハリストス正教会の尖塔が見え鐘が聞こえる。「マヤ、あなたは東京に向いている」。四人目は保利満(小澤征悦)、水産関係の研究所で働き、魚を呼び寄せる技術開発をしている。その画期的な技術を調べに中国人



さて、保利との回想場面は生物教室で水槽のポンプの音

が聞こえ、窓の向こうにはハリストス正教会が見える。「マヤ、俺、魚の気持ちわかる男なのだ」。保利は摩耶から研究費として資金を提供してもらおうが、最後には東京の食品メーカーに転職することになり金を返す。五人目は魚住サキ（黒谷友香）、高校時代に摩耶に美人コンクールで負け、それから摩耶をライバル視している。上昇志向の強いサキは、年の離れた乳業会社の社長と結婚し贅沢な暮らしをしていたが、夫は汚職容疑で自宅前に待機していた報道陣の前で倒れ亡くなる。無一文になったサキは元の仕事（クラブホステス）に戻る。

摩耶はサキに残った全財産金塊5本（1、700万円相当）をあげる。サキは店に客で来たアラブ石油会社の日本支社長（袴田吉彦）に狙いを定めるが、翌朝郊外の牧場で死体となって発見される。牛が数頭横に並んで草を食んでいる、カメラが引いてくると手前にピンクのドレスを着たサキが横たわっている。そこに1頭の牛がサキの顔のすぐそばまで寄ってくるが、刑事たちが現れるとさっと群れに戻る。牛が寄ってきたのは偶然なのだろうが、普通はそこでカット撮り直しとなるところ

が、そうはならずおもしろいシーンになった。ただ死体役の黒谷友香はハラハラドキドキしたのではないか。サキとの回想場面は校舎の廊下に生徒の声とチャイムが鳴り、「マヤをライバルと思ってい

に「あなたは、日経平均株価が7、000円台になったときにも、しっかり儲けをだした」と云われることから、多分株で儲けたことを匂わせる。克蘭クインしたのが2008年11月であり、この年の9月にリーマン・ショックが起こり、実際10月には日経平均株価が7、000円を割っている。監督はこの事態を予想していたのか？それとも急遽この台詞を入れたのか？

金塊を郵便受けに投げ込んでいたのは誰か？犯人はさくらでした。市場の抽選で宝くじが3、000円分あたり、そのくじで1億円当たったのだった。それを金塊に変えて、配っていたことを摩耶に告白する。

クローズアップをなくして、ロングショットが多いことを監督は「メッセージが直接的になることを避けたかった。それから、見る人に映画の行間を読んでほしい」と。また、カメラを傾けて撮っているシーンが多く出て来る。電車好きの監督らしく、今回も「キッチン」同様、市電の場面が効果的に使われている。摩耶が大町から谷地頭まで乗車する。松風町の交差点を電車がすれ違ふ、十字街から宝来町へ電車が通過するのをあさり坂から見下ろす、道上が電車を運転しているのを前方から捉える（何度も登場）など。ロケ地は動物病院（さくらの飼犬が診察台に横たわっている）が東京、母親の入院している病院の廊下が千葉県木更津の施設の他は、全て函館及び近郊で撮影された。摩耶と道下がお酒を飲んでるのが、松風町の「BAR JEX's」、摩耶とかえでが話しているのが、松陰町の「喫茶らんぶる」。川上がマラソンの練習するのは、大沼湖畔、サキの夫の葬儀場は東川町の「本願寺函館別院」（現在は新館に建替）、サキの葬儀の後5人で会食するのが、宝来町の「料亭富茂登」。保利の研究所は道立函館水産試験場（2014年移転）、摩耶と歩くのは、根崎ラグビー場の土手、この場面、二月の函館ではめずらしく雪が積もっています。この土手は佐藤泰志原作の「草の響き」（2021年斉藤久志監督）で工藤（東出昌大）のジョウギングコースでした。溝口が保利をヘッドハンティングするために、中国女性を送り込んだ（この策略は摩耶の機転で失敗に終わる）ホテルが末広町の「ヴィラ・コンコルディア リゾート&スパ」。摩耶とさくらが買い物行くのが、

「ホームマック、スーパードポ石川店」、病院の病室は「はこだて未来大学」、牧場は見晴町の「松岡牧場」。その他、函館八幡宮なども出てきます。俳優では、チョイ役で引越屋の一人が鈴木亮平、場をわかまえない記者（これが役名）どうわきまえないかは省略）に北川景子が出演しています。が、意外と気が付かないかも。映画の冒頭、ジョン・ウエスレーの「できるだけ儲けて、できるだけ貯めて、できるだけ与えなさい」とアルトゥル・ショーペンハウアーの「富は海の水に似ている。それを飲めば飲むほど、のどが渇いてくる」の格言の字幕が出てきます。お金はお墓の中まで持つていけません。使うにしても残すにしても悔いのないようにした方がいいのです。これからも函館はロケ地として、多くの映画に登場することでしょう。その映画を見ることで、函館に想いを寄せ、函館を愛した森田監督を偲びたいと思います。3回にわたり私の拙い文章をお読みいただきありがとうございます。

【参考図書】「映画作家森田芳光の世界」（キネマ旬報社）「森田芳光全映画」（Little More）

「一枚の絵」

田中 剛史（29回生）

卒業から44年の歳月が過ぎ、函館を訪れる機会も少なくなりましたが、七飯町で九年間と高校三年間を市内時任町で過ごした私には函館が一番想い出の深い故郷です。そして一枚の絵に出会い、今回、初めて一枚の絵を手に入れるまでのお話を聞いてください。

私は卒業後、進学して製造会社に就職し、通算15年、内地勤務を経験しました。最初に愛知県の工場に配属、その後東京の本社に転勤となりました。バブル景気が泡沫の如く吹き飛んで暫くしたある日の事、会社近くの書店で「一枚の絵」という絵画雑誌に出



会いました。その本は表紙に「特集サハリン紀行」と「特集雪の函館」と印刷され父の故郷の樺太や冬景色の美しい函館の絵画が掲載されていま



留まりました。それは西高前のスロープから教会を写した樋口画伯の「函館朝陽」という絵でした。下校時、毎回眺めていた風景がそこにありました。卒業して十五年が経ち、懐かしく想い出され、この絵が欲しくなり購入も考えましたが、高価なもので当時の私には買えません。ただこの本は大切に手元に置いて、その年、函館の実家に帰省した時に父にも見せて望郷の想いを感じてもらおう事が出来ました。父は体調を崩しており、翌年阪神・淡路大震災や地下鉄サリン事件の発生した激動の年に病で亡くなりました。

時は流れ、その後札幌工場に勤務する事となり、当地で住処を得て定年退職を迎えました。函館で一人で暮らしていた母も実家を処分して札幌に転居し、真駒内滝野霊園に念願のお墓を持つ事も出来ました。私の姉は六歳で病没しており、父と姉の遺骨は函館の寺の納骨堂に預けていましたが、昨年六月、二度目の職場を退職した機会に、遺骨を札幌へ改葬するため函館を訪れる事にしました。

当日、愛車で手稲の自宅を出発し、小樽方面の毛無峠を越え、赤井川・倶知安經由で国道を走行し道南に向いました。ニセコの道の駅で休憩長万部「三八飯店」で昼食に夫婦の好物の海鮮あんかけ焼きそばを食べ、鹿部の道の駅に立寄り、買物をして南茅部經由で函館市街地へ。夕方には連絡船摩周丸記念館が見えるホテルに到着しました。翌日、お寺に行つて住職に懇ろに供養して頂き二人の遺骨を無事引取る事ができました。その足で市役所を訪問し改葬許可申請の手続きを済ませ、皆で函館山周辺をドライブしました。青柳町經由で立待岬に到着、絶景を望洋。函館八幡宮を通り坂道を走り、西高前八幡坂へ、この景色をしばし

眺め、その後外人墓地、電車通りを経てホテルに戻りました。ホテルは父の働いていた会社に隣接しており、旧棧橋も客室の窓からよく見えるので遺骨を窓際に置いて、懐かしい海辺の景色を見せる事ができました。館内は道民割の影響もあり就学旅行や関西方面の宿泊客等で賑わっていました。ホテル内には絵画の小さなギャラリー（こぐま座）があつて夕食の帰りに見ていると函館の懐かしい風景が目に見えました。その中に以前見た一枚の絵、西高前が見える教会を彷彿とさせるものがありました。以前本で見た絵と違い水彩画でアングルも季節も違つていましたが一見して心が躍りました。父もよく仕事で利用していた想い出のホテルで、しかもこのタイミングでの出会いです。今度は迷うことなくこの絵を記念に購入しました。

自宅に帰宅後、絵は居間の食堂の壁に掛けました。それは毎日眺める事で気持ちを和ませてくれます。絵の下には「西高通りから見える元町カトリック教会」と記しました。こうして我が家には、欲しかった一枚の絵を最初に出会つてから30年近い時間を経て、よう



西高通りから見える元町カトリック教会

やく飾る事ができました。これからはずっと私達を見守つて安らぎを与えてくれることでしょう。

会報原稿募集

あなたのお店を紹介してみませんか。また、エッセイ・旅行記・俳句・詩歌・写真など形式や内容を問いません。事務局までホームページのお問い合わせ及び支部メール、ファックスでご連絡ください。謝礼に図書カードを進呈いたします。



わたしのお店紹介「ノルトエッセン」

早川 素子(旧姓遠藤20回生)

七十年安保を間近に控え政治の風が吹く、そんな時代に多感な高校生生活を二年間函館西高で過ごしました。海を見ながらの登下校。四季折々変化を見せる街路樹や臥牛山自分の靴音を聞きながら歩いた石畳の坂道。厳かな静寂に身をおきたくて時折訪れたカトリック元町教会。授業をさぼって行った水元公園で見上げた空と雲。どれも私にとって愛おしく懐かしい西高時代の風景です。



水元公園(元町配水場)

「函館の青柳町こそかなしけれ 友人の恋歌矢車の花」こんな啄木の歌がよく口をついて出たのも西高をとりまく気色故であったと思います。二年間の高校生活でしたが、その中でたくさんの方々に出会い刺激を受けました。尊敬とあこがれを持つことができ

た清水先生(当時小橋先生)に出逢ったのはとても大きなことだったと思います。女性史の勉強会は随分自分の生き方に影響をあたえました。二級上の先輩たちは個性派ぞろいでしたし、それぞれに優秀でした。よく議論もしておりまして。私は後ろからそっと見ているだけでしたが、大いに刺激を受けたものです。

たった一年しか高校生活を共にしなかった若松さんは今では大の仲良しです。旅行にも一緒にいきますし、私どもが主催する小さなコンサートにも毎回出席してくれます。卒業して五十年もたつて再会した井田さんや平君は、今では頼もしい相談相手もありま

す。私のお店のホームページは井田さんがボランティアで作ってくれたものです。このような出逢いは函館の美しい景色の中でキラキラ輝く宝石のように思えるのです。函館西高から旭川西高、相模女子大、成城大学大学院、その間に結婚しましたが、モラトリアル生活を二十代後半まで続けておりました。一九八三年(昭和五十八年)



九月、夫と私は札幌市南区澄川に「ノルトエッセン」というパン屋を開きました。添加物を入れないパン。道産小麦のパン。パンを作るうえで添加物を入れないことにこだわりましたから、もちろんミックス粉、専用粉は使わず自家配合にこだわりました。熟成による味も大切にしましたから、いくつもの酵母を使い合わせています。そんなパンは、小ぶりで重たくやわらかさに欠け、カビもはえやすい難点はありましたが、強く支持して下さるお客様や全国の百貨店のバイヤーの目に留まったお陰で少しずつ認知度を上げていくことができました。地元札幌では西武百貨店、大丸デパート、丸井今井、旭川西

武の催事に出店。その他東京や横浜の高島屋、船橋東武、宇都宮東武、静岡伊勢丹、浜松遠鉄、大阪阪急、大阪大丸、福岡阪急、福岡大丸等々多くの北海道物産展に呼ばれて「ノルトエッセン」のパンを売りました。コロナの流行を機会にすべての物産展、催事をやめ、今は当別金沢にある店と通販のみの販売にしております。

パンで胃袋を満たすだけでなく、心にも豊かな糧をということで、ここ三十年以上コンサートを開いています。以前は演奏者とノルトエッセンの都合があう時間に開いておりましたが、コロナで元気をなくしつつある状況をみて昨年からは一カ月に一度の割合で開いております。当時札幌の主席オーボエ奏者であった岩

崎さんが中心のグループ「奏楽(ソラ)」のコンサートです。天然酵母・無添加パンの製造販売とノルトエッセンの小さなコンサートとを両輪にして走り続けておりますが、そこに函館西高で出会った友人たちがかわってくれていることがなんとも愉快で素敵なことだと感謝しております。



ノルトエッセン
Nordessen

〒061-0212
北海道石狩郡当別町金沢 2006-1

☎0133-25-5110

営業時間 午前 10 時～午後 6 時

定休日 月・火曜日(祭日は営業)

駐車場 15台

店舗冬季休業(12月～翌3月頃まで)

Online Shopは年末年始を除いて営業

URL:<https://www.nordessen.com>

Email:nordessen.shop@gmail.com

「P.G.に出会えて！」

河島 秀治 (19回生)

ある年の春先、電話が鳴った。元クラスメートのK君でした。

「河島！P.G.やらないか！」

「え、なに、それ？」

聞けば以前からチヨロチヨロプレーしていたらしいのですが、本腰を入れたらしい。

そのため近くに住んでいる私にお誘いがあった。ゴルフはしていましたが、P.G.は年寄りの集会場、大げさな穴、「プロゴルフアール」でもあるまいし、一本のクラブで何がおもしろい？ そんなイメージがなかなかなかった”P.G.”。腰を痛めてゴルフを中断していたので、軽い運動のつもりでとりあえず参加することにした。

近場のコースにK君と奥様そして私。クラブはネットで手に入れていた(昔から何をやるにも道具から入る人なので!)。50M くらいのホール、真ん中に木の株が!上を越すか、脇を抜くか、真つすぐ転がる練習をしていたが、案の定株に当たって横のラフへ、そこから出なくて、カットインまで7つもたたいた。え、これってゴルフより難しいジャン???

K君の話では、一つのクラブでいろんな打ち方があるそうで、それをマスターしないとスコアは上がらないとのこと。ゴルフはクラブの種類で打ち分けることが出来るが、これは老人だけの遊びではないぞな!次のホールは30Mと短く、障害物はなにもない。ホールインワンも夢ではない!真つすぐ打った。え!カットを通り越しかなりのオーバー、返しは短い、そしてオーバー4つも!K君は「そんな所は2で上がらなければスコアメイクは出来ないぞ!」結局は何だかんだと、18ホールを2回廻つて130(バー132)。

初心者としては、まずまずと云われたが、口惜しさしかなかった。それから上手な人(K君ではない)に教えてもらい、日々練習、その後近所のクラブチームに入ったが、いつもK君と最下位争い。トホホ:『こんな所でも西高OBとして足を引つ張っています』。打ち方も、カット打ち、カブセ打ち、スクイ打ち、ロブショット等があり、そのロケーションで使い分けをする。余談ですが、K君はカブセ打ちの練習をしすぎてか腱鞘炎になって、整形に通っていました。その後、私も同じ整形に通いました。

料金はコース場よつてまちまちですが、一日中廻つて、400円から1500円、無料で開放しているコースもあります。やはり高いコースは手入れも行き届いていてキレイです。始めた頃はあまりに安いので、釣りは要らないと言いつつ一日中廻つて、一万歩超えもありますので、足腰の鍛錬にもなるかも? 残念なのは、4月中旬から11月初旬までしかプレー出来ないことです。好きな人は雪の降らない地域まで行つていくそうです。これからの希望は、P.G.発祥の地である幕別つつじヶコースでプレーすること。更に池越え、谷越え等の難しいコースにも挑戦したいです。最後に札幌ドーム関係者各位にこの紙面をお借りしてお願い致します。冬場に18ホールのP.G.コースを作つてほしいです!こんな飽きっぽい私を長年夢中にさせているスポーツ、パークゴルフ(P.G.)ありがとう!

追伸、たびたび出て来るK君には、重なる非礼を申し上げます。

【編集後記】

今回は多くの寄稿により、バラエティに富んだ面白い構成となりました。心より感謝申し上げます。

さて、事務局では札幌支部ホームページのリニューアル化に着手し、運用を開始します。今後の媒体によって、同窓生相互の情報交換の一助になればと思っております。

最後に、コロナ禍によって、過去3年間、中止となっていた支部総会/懇親会が、今年は開催の方向で準備しており、同窓生の和気あいあいの場面を今から心待ちにしております。(堀田)

ホームページが新しくなりました

URL : <https://tsutsujisapporo.jimdofree.com>

つゝじヶ丘同窓会札幌支部

検索



みなさまの訪問をお待ちしております

- 長谷川 洋一 (西2) 御苦勞様
- 原田 陽子 (西3) よろしくおねがい致します。
- 成田 ゆき子 (西4) 高齢になりましたので、2022年度で退会させていただきたく、お願いいたします。
- 堺 中 (西4) コロナも徐々に収まりつつある様に見受けられます。次年度の「総会懇親会」を心待ちにしております。
- 中村 紀 (西6) つゝじヶ丘同窓会の発展を、母校の発展をお祈り致します。
- 小川 紀子 (西6) 成田様、その他係の方々、お世話になっております。御苦勞様です。
- 片山 進 (西7) 届いた案内文書に同窓の絆を感じました。
- 丸井 英隆 (西8) 役員の皆様御苦勞様です。
- 穴戸 正明 (西8) よろしくおねがいいたします。
- 小池 恒隆 (西9) ありがとうございます。
- 折登 一彦 (西10) 80才を越えました。これを機に貴同窓会札幌支部会員を辞退しようと思っております。長くお世話になりました。ありがとうございました。
- 前田 和子 (西12) 帰国の際、未来大と母校の後輩が西部地区をみつめ直すきっかけにと作ったポスター(俳句とデザイン)を見てきました。嬉しかったです。
- 荒川 洋三 (西15) 会報ありがとうございます。函館のことなど思い出しています。「森田芳光と函館」(その2)もおもしろかったです。
- 丸井 紀子 (西15) コロナ感染も減少傾向に向かっていますが、安心して生活ができるように祈つてます。
- 木村 由紀 (西17) 支部長様はじめ、役員の皆様いつもありがとうございます。
- 河島 秀治 (西19) 役員の皆様ボランティア精神、感服いたします!
- 増田 泰子 (西19) いつもありがとうございます。
- 佐藤 武志 (西20) お互いに元気で!! 函館という故郷も遠くなくなってしまいました。
- 佐藤 泰子 (西20) 御連絡ありがとうございます。当別町でノルトエッセンというパン屋を営んでおります。
- 横山 俊三 (西24) 来年度の開催、楽しみにしております。
- 横山 俊三 (西25) 役員の方々ご苦勞様です。来年の集まりを楽しみにしております。
- 南部 久美 (西26) よろしくおねがいいたします。
- 菅野 幸幸 (西33) コロナ禍の収束を祈るばかりです。来年は総会を開催できればいいですね。

